

入賞作品

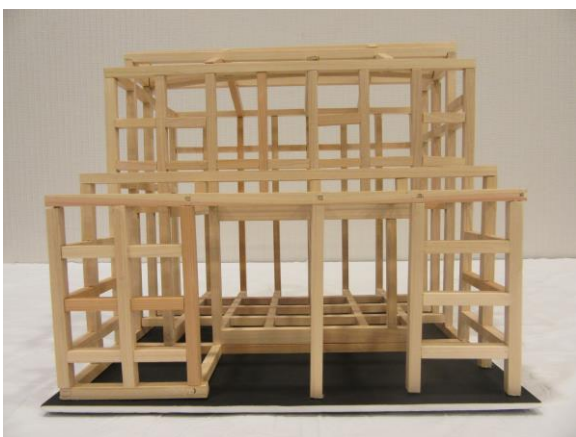


☆ 静岡県知事賞（最優秀作品）

「折りたためるぞ！ハンモックスタイルチェア」（親子作品）

島田市立金谷小学校

5年



☆ 静岡県教育委員会教育長賞

「我が家の蔵」

掛川市立大浜中学校

3年



☆ 静岡県教育研究会賞

「夜でもおまかせ道具箱いす」（親子作品）

静岡市立南藁科小学校

4年



☆ 静岡市長賞
「軍かん船」
静岡市立足久保小学校
5年



☆ 静岡市教育委員会教育長賞
「いのししのわな」(親子作品)
浜松市立犬居小学校
6年



☆ 静岡県経済産業部長賞
「木箱」
浜松日体中学校
2年



☆ 静岡科学館長賞
「カッコンカッコン装置」
静岡市立清水和田島小学校
3年



☆ 静岡県森林組合連合会長賞
「とりのすかご」
島田市立金谷小学校
4年



☆ 静岡県木材協同組合連合会長賞
「木材うんぱん車」
静岡市立足久保小学校
4年



☆ NHK静岡放送局長賞
「鳥獣戯画」
島田市立五和小学校
6年



☆ 静岡新聞社・静岡放送賞
「一本下駄・二本下駄」
掛川市立上内田小学校
5年



☆ 中日新聞東海本社賞
「My 座卓」
浜松日体中学校
3年



☆ テレビ静岡賞
「カントリー風ガチャポン」
掛川市立上内田小学校
6年



☆ 静岡朝日テレビ賞
「恐竜の骨」(親子作品)
富士市立青葉台小学校
1年



☆ 静岡第一テレビ賞
「フラワースタンド」
静岡市立南藁科小学校
4年



☆ K-mix 賞
「小物入れ付き本棚」
浜松市立蜷塚中学校
2年



☆ Fm Haro! 賞
「子どもイス」
菊川市立菊川西中学校
3年



☆ 日本木材青壮年団体連合会長賞
「きらきらツリー」
島田市立金谷小学校
4年



☆ 静岡県木材青壮年団体連合会長賞
「引き出し扉パカパカラック」
浜松市立蜷塚中学校
2年



☆ 審査委員長特別賞
「鯨と海賊船」(親子作品)
伊東市立宇佐美小学校
4年

審 査 会



1. 日 時 平成29年10月28日(土) 13:00~15:00
2. 会 場 静岡市駿河区南町 14-25「静岡科学館る・く・る」企画展示室
3. 審査員 (敬称略、順不同)

No.	所 属	氏 名
1	☆審査委員長 静岡大学教育学部 名誉教授	今山 延洋
2	静岡県経済産業部森林・林業局林業振興課 技師	桑原遼太郎
3	静岡市経済局農林水産部中山間地振興課 主査	大須賀紀夫
4	静岡市教育委員会学校教育課 指導主事	澤 直木
5	静岡県森林組合連合会系統部 部長	渡辺 英彰
6	静岡県木材協同組合連合会 専務理事	又平 義和
7	静岡県木材青壮年団体連合会 会長	柿本 貞治

☆ 作品審査の感想

審査委員長／静岡大学名誉教授 今山延洋



木の工作を続けましょう

審査には3つの基準があります。①木の持ち味が出ていること、②機能やデザインが優れていること、③工作技術が優秀であることに配慮して選考が行われました。

全国コンクールへ出品される上位3点については、小学校1～4年生の低学年と5～6年生の高学年、中学生のそれぞれから1点ずつが選ばれるように配慮しました。

県知事賞の島田市金谷小5年女子「折りたためるぞ！ハンモックスタイルチェア」は、角材を使ってリクライニングできるように組合せたユニークな形で、森林浴気分でリラックスできそうです。

県教育委員会教育長賞の掛川市大浜中3年男子「我が家の蔵」は、接合にほぞ組を用いた、建物の柱や梁の骨組の様子がよく分かる規模の大きな建築見本です。

県教育研究会長賞の静岡市南藁科小4年男子、「夜でもおまかせ道具箱いす」は、中に豆電球がセットされ暗いときでも中が見え、作りがしっかりした、道具箱と兼用のいすです。

静岡市長賞の静岡市足久保小5年男子「軍かん船」は、色々な形の木ぎれを組み合わせ、今にも動き出しそうな軍艦の様子がよく出ています。

静岡市教育委員会教育長賞の浜松市犬居小6年男子「いのししのわな」は、太さの違う木の枝を上手に組合せ籠を作り、木彫りのイノシシがかわいい作品です。

静岡県産業部長賞の浜松市日体中2年男子「木箱」は、加工も塗装も丁寧で、中に小物を入れたくなります。

その他の賞がついた作品として、

- ・角材を使ったものに、子どもイス、
- ・板を使ったものに、一本下駄・二本下駄、My座卓、カントリー風ガチャポン、小物入れ付き本棚、引き出し扉パカパカラック、
- ・本立てや収納に、小物入れ付き本棚、引き出し扉パカパカラック、
- ・使って楽しい物に、行灯の鳥獣戯画、一本下駄・二本下駄、My座卓、とりのすかご、フラワースタンド、子どもイス
- ・飾って楽しい物に、きらきらツリー、軍かん船、鯨と海賊船
- ・流木や枯れ枝を使った飾って楽しい物に、恐竜の骨
- ・動かして面白い物に、カントリー風ガチャポン、ビー玉を転がすカッコンカッコン装置、木材うんぱん車、がありました。

木のオモチャや積み木などのように木の製品に触れると、木のもつ心地よさを五感で感じられます。そして、木を工作した時も、同じような心地よさ・快感を感じる事が出来ます。

木の工作をするとき、道具の手入れが悪かったり、材料の固定がしっかり出来ていないと、うまく切ったり出来ず、工作が苦手になります。反対に、手入れのよい道具を使い、板をしっかりと固定して工作をすると、とても簡単にきれいに切れ、板を切ることに快感を感じ、工作が楽しくなります。このように、普段の生活で木に触れる時だけでなく、木を工作するときにも快感を感じる事が出来ます。

怪我が無く楽しく工作するためにも、錆びた道具を使うのではなく、よく手入れされた道具を使い、材料がぐらぐらしないように、クランプや万力などでしっかりと固定することが大切です。そうすると、工作が正確で楽しくなり、上達も早くなります。

子どもの頃から木に触れ、木でものをつくることを通して、木と向き合い、色々な木を使ってたくさん工作すると、物作りが得意になり、子どもの五感が発達し、木が好きになり、樹木や森が好きになります。これからも木の工作を続けましょう。